

VOICE

図書館でボランティア活動をしてくれた
中高生のみなさんに、オススメの一冊を紹介
していただきました！

(編集にあたり、内容は変えずに一部修正しています。)



『わたしの彼氏』

青山 七恵／著 講談社

「恋は理不尽。恋は不条理。」美男な彼が恋する人は、全員複雑な人ばかり。身近で愛してくれる女の子を選べばいいのに、その子には心が揺れない。恋って、必死だからこんなに痛くて、こんなに素晴らしいんだ、と思わせてくれる一冊。

(ちーちゃんさん)



『星のかけら』

重松 清／著 新潮文庫刊

この作品は、学校でいじめられている少年ユウキが星のかけらのうわさを聞いて、星のかけらをさがします。命の意味に触れ、大人へと近づいていく物語です。

(TRさん)

●ご感想、本の紹介など、中央図書館のヤングアダルトコーナーに設置されているポスト、または下記のメールアドレスにお寄せください。メール投稿の際は件名にYOUNG=JIN、本文に年齢・ペンネームを明記してください。

●本の表紙掲載については、出版社の許諾を得ています。
編集・発行 長岡市立中央図書館 (0258-32-0658)

図書館HP <http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp>

図書館メールアドレス lib@city.nagaoka.niigata.jp

スマホ
サイト→



←携帯
サイト

WE'RE 長岡市立中央図書館ヤングアダルト News
Vo 1.45 2016.11

YOUNG-JIN

言葉



やまと
～若者言葉・大和言葉～

日々、めまぐるしく変化していく言葉。流行の言葉もいつかは「死語」になる…。ここでは昔の言葉を掘り起したり、楽しんだり学んだり、言葉はおもしろい！と思える本を集めました。言葉の妙味、とくとご堪能あれ！



『昭和ことば辞典 おい、羊羹とお茶もっといで！』

大平 一枝／文 伊藤 ハムスター／絵
ポプラ社

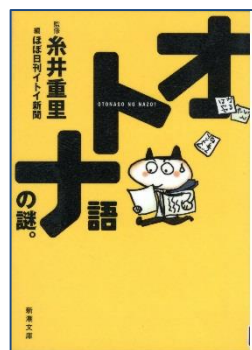
昭和の日本映画から、昔っぽい言いまわしばかりを集めた本です。古臭いとあなどるなかれ。現代人のコミュニケーションに風穴をあける、新鮮な言い回しが満載です。





『恋文の技術』

森見 登美彦／著 ポプラ社
言葉を紡いで手紙を書きます。この本では守田一郎くんが、恋をしている伊吹夏子さんに恋文を書く練習をするため、先輩や友人にあてて手紙を書きます。そのおもしろいこと！守田くんの手紙を読むと、言葉っておもしろいなあとと思いますよ。



『オトナ語の謎。』

糸井 重里／監修 ほぼ日刊イトイ新聞／編
新潮文庫刊
みょうにち、午後イチ、なるはやで。カイシャで飛び交うマカ不思議な「オトナ語」。家でも学校でも習わない、この不思議な言葉の数々を楽しんでみませんか。もしかしたら、将来役に立つかもしれませんよ。



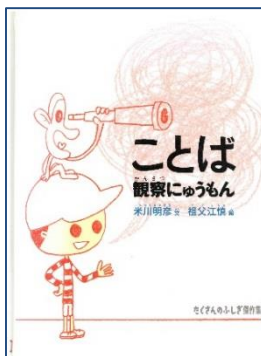
『大和言葉つかいかた図鑑』

海野 凧子／文 ニシワキ タダシ／絵
誠文堂新光社
大和言葉と聞くと、なんだか古いような、難しいような気がしませんか？でも、この本を読むと自分でも使ってみたくなるんです。
「お気遣い、いたみいります。」
こんな風にお礼を言ったら、お友達もきつとびっくり!!



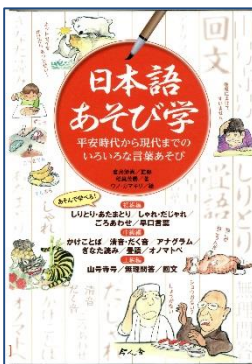
『NHK気になることは 調べてナットク意外な発見!』

NHKアナウンス室／編 東京書籍
「はまる」も「へこむ」も江戸時代から使われている言葉なのですが、なぜ「若者言葉」と言われるのか。使い方やニュアンスの変化が違和感をまねいたもとのこと。言葉がなぜ、どのように変化したのかを知れば不思議な言葉使いも納得です。



『ことば観察にゆうもん』

米川 明彦／文 祖父江 慎／絵
福音館書店
自分のことをなんて言いますか？ほく、わたし、おれ、名前…同じものでも、言う人の年齢・仕事・仲間うちによって、違う言葉で表現するものがたくさんあります。どんな場面でどんな言葉を使っているのか観察しましょう！



『日本語あそび学 平安時代から現代までのいろいろな言葉あそび』

稲葉 茂勝／著 倉島 節尚／監修
ウノ カマキリ／絵 今人舎
「回文」、「畳語」、「早口言葉」…平安時代から現代までの言葉あそびを集めた一冊です。笑ったり、遊んだり…そして勉強に活かせる「ごろあわせ」は必見です！ 5108、3150!

(i 豊福 `善皇)